

第2回障害者施策推進協議会(事前意見)

意見付番	施策一覧番号	意見	担当課	プランへの反映	備考
1	3、14、297	障害のある人、ない人がともに芸術作品を鑑賞して、意見を交換する場を設けてほしい。芸術作品の鑑賞は、その人の人生が深く関わり障害の有無を超えて人として同じであることを理解しあえる場になると思う。鑑賞の方法などに配慮した上で、交流の場が持てると良い。	3: 障害福祉課 14: 義務教育課 特別支援教育・児童生徒支援課 297: 障害福祉課 文化振興・文化財課	○	
2	148	こだわりの強い障害者(自閉症スペクトラム)の中にも、重度であっても入所施設やグループホームでなく住み慣れた自宅で(施設に入所して状態悪化がみられるケース)ヘルパーの支援を受けながら、穏やかに生活できることを願う家族もあると思います。高齢者や身体障害児者に対応するヘルパーの方は多くいますが、自閉症・発達障害児者にも対応できるヘルパー(支援者)の育成もして欲しい。148が該当しているかと思いますが、市町村にヘルパー育成の促進を願う。	障害福祉課	△	本県では、県の指定する事業者が常時介護を要する重度障害者への支援者を育成するための研修を行っている。今後、より多くの市町村において研修の受講が促進されるよう、県からも各市町村に対して周知、働きかけを行っていく。
3	250	点字等による試験はICTを利用したものも含まれているのでしょうか。	人事委員会事務局		個別対応になるため、具体的に申し上げることはできませんが、身体の障害等により、受験上の配慮を希望される方には、試験申込の際に、「受験上の配慮」欄に入力をしていただいております。具体的な対応方法については、申込者と相談させていただきながら、対応可能な範囲内で対応していくこととしています。
	284	パラスポーツセンターとはどの施設のことでしょうか。	スポーツ振興課 特別支援教育・児童生徒支援課		甲府市川田町にある旧青少年センター体育館を改修しています。
4	59	障害のある人を受け入れるための指定福祉避難所の指定の促進を図るだけでなく、どこの地域・地区にどのくらいの障害の程度の人があるのか調査して把握し、まず一次避難所へ行ってから、福祉避難所を開設して移動ではなく、初めから福祉避難所へ行けるようにマニュアル作成してほしい。重度の方は呼吸器・酸素など医療機械が多く、また全介助の方も多いため、介助者がいなければ非難することが困難となる。福祉避難所での必要物品についても検討してマニュアルに追記してほしい。	防災危機管理課 福祉保健総務課 障害福祉課	△	委員ご指摘の意見は、国が令和3年度に改定した「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」にも地方公共団体の取り組むべき項目として記載されており、県としては、当ガイドラインを踏まえた市町村への支援を行っていく。支援の手法として、現段階では各市町村の課題に沿った伴走型の支援を想定しており、県としてマニュアル作成を行う予定はない。
	全体	医療的ケア児支援センターでの研修が強化されることはとても良かった。介護職員や保育士・学校教諭への広がり、理解されていくことに期待する。また、看護師だけでなく潜在看護師をターゲットにした研修が行われることにより、人材増につながると思います。	障害福祉課		
5	16	令和4年度から高等学校の保健体育の教科書が改訂され、「精神疾患」の記述が40年ぶりに復活しました。精神保健福祉の実現においては、精神疾患についての正しい知識の啓発は重要な事の一つだと思います。精神疾患は10代～20代に発症しやすい疾患とも言われていて、早期対応は重要です。16の一覧では精神に特化した記述は難しいかと思いますが、素案においては上記を踏まえ、精神疾患に対する教育の実施に関する記述についてご検討をお願い致します。	保健体育課 (16: 障害福祉課・義務教育課)	○	
	236	教育環境の整備については、特別支援学校関連の記述が多いのですが、全ての学校教員への障害に対する理解は不可欠だと思いますので、その実施(充実?)についての記述についてご検討をお願い致します。	義務教育課 特別支援教育・児童生徒支援課	○	
	施策の柱(2)①a(ii) 広域・専門的な相談支援体制の充実	「身体障害者巡回相談」「知的障害者巡回相談」との名称で、専門家が市町村を巡回する相談事業がなされています。精神障害者についても、医師、精神保健福祉士等の専門家の巡回相談の実施 もしくは包括型地域生活支援(ACT)、訪問支援(アウトリーチ)が実施できる体制が望まれます。記述が可能であれば、ご検討をお願い致します。	健康増進課	○	
6	235	インクルーシブ教育の推進について235で新しくインクルーシブ教育の目標が掲げられました。とても評価をします。現状では児童数が減少しているのにも関わらず、特別支援学校に通う子どもは増え続けており、その背景には家庭環境の変化が大きいと感じています。実際、児童発達の研究をされている方も、同じような分析となっています。私も正確な数を調査している訳ではないのですが、各種の学校の現場や相談の現場で感じることは、最初から特別支援ありきになっていないかという雰囲気です。特別支援に通うことが悪いと言うのではなく、「普通」の子どもたちのために、課題のある子どもを離す、という意識が、強くなりつつあるのではないかという恐れです。235はとても評価しますが、他の児童に関わる項目にも、障がいのある子どもも権利として地域の学校に通い、地域で育つと言う文言を散りばめていただくことで、教育現場での更なる意識向上を目指せないかという意見です。また、現場の先生が困らない施策も必要と思います。が、まずはインクルージョンという言葉で、ひとくくりなのは、意識付けが弱いと思いました。	特別支援教育・児童生徒支援課	○	